



## オリジナル新聞作りに笑顔

### 夢、家族への思いにじむ

毎年5月上旬から出前授業や教員研修の要請があり、県内各地の学校へ赴く。本年度は例年の学校に加え、初要請の学校が多く、NIEが全県的に広がっていると感じる。

夏休みに行った教員対象の研修会の一コマ。「チャーリー

ン」「チャーリーン」。子どものように無邪気な声が教室内に響く。今回は「ことばの貯金箱」と題し、「気になる言葉」をテーマに、大小さまざまな見出しを探した。切り抜いた後は、嬉々としてポーズを決めながら箱に「チャーリー

ン」。これから始まる旅の「切符」だ。

次に各自が個別のテーマを決め、貯金箱からそれに合う見出しを選んで画用紙に貼り付けた。手書きの文字なども添えて完成。40分ほどの行程で終点に近づいてきた。

何げなく切り抜いた見出しを再構成する途中で▽情報収集力▽論理的思考力▽語彙力▽ストーリー性▽表現力(書く)ーなどの駅を通過して、作品を伝え合う(表現力=話す)ところが終着駅になる。どの先生も楽しそう

に自分の作品を紹介し、聞く方も興味津々で会話は弾んだ。

作品にはそれぞれ物語があり、実社会というよりも生活に直結しているように感じた。夢を語ったり家族への思いを伝えたり。普段、心の片隅に隠れていた感情が、にじみ出ているようでもあった。

(徳島泰彦)

× × ×

NIE担当者が、出前授業などで見たり、感じたりした「いい話」を紹介します(不定期掲載)。